



かいのき児童クラブ便り



H28. 1. 5

子どもたちのはじける笑顔のために



「あぁ～おもしろかった！！」「また、あした！！」

短い休みだからこそ思いっきり遊ぼう！！とあえて特別な行事・取り組みを入れませんでした。久しぶりに来られた仲間もいてどんな4日間になるかと心配もしましたが、毎度のことながらそんな私たちの心配もまったく感じずまるで昨日の続きのような4日間が過ごせました。

発展していく遊び

その1 ゆび編み

冬にはよくする指編み。低学年はどんどん長く編んでいきます。そのうち1本できると2本3本と編みそれを三つ編みにしてとてもあったかそうな太さのマフラーに仕上がっていました。高学年のお姉さんは、低学年が編みやすいように毛糸の玉から小さい毛糸玉を作ってあげたり、もつれたところを直してあげたりしてくれていました。お姉さん達は、指で編むのでは物足りなくなり外から枝を取ってきて紙ヤスリで削り棒編みに挑戦していました。

1年生は、その中ではこんなやり取りも・・・

『このままずーと編むとどのくらいになるかなあ？』『地球巻くぐらいになるかなあ？』 ついつい『そりゃごはんもお風呂も入らず、寝ずに編んだらなるかもよ。』に真剣に『ホンマヤなあ。でも大変やなあ～。』なんとも壮大な話でした(^v^)(笑)

その2 チャンバラごっこ(戦い)

前々から棒を振り回し戦う男子。けがのリスクを考えると指導員間でもチャンバラごっこをどう捉えるかなかなか話がまとまりません。そしてそのまま子どもたちにどうすればいいだろうか？と相談しました。夏休みには、背丈より長い棒は取りまわしにくいから止めようと決めていました。『その他どうする？』にいろいろ話し合ったみたいですよ。

そして『手に当たったら、やられたことで一回基地に帰る。』『人数は、ドッチみたく少ない方が命二つの人を作る。』なんて完全に陣取りみたいにルールを作りました。そのうち様子を見てみると木工遊び用のヤスリや鋸で危ない枝を切ったり持ちやすいように削ったりとここでも工夫をしていました。自分たちで遊んでいる中でちょっと擦り傷を作ると指導員には、『大丈夫。大丈夫。』と必死です。ケガのないようにすることが第一ですが、子どもたちの遊びたい気持ちも潰さないように配慮していきたいと思いました。

今していることから発展させて自分たちで工夫を重ね楽しむ姿は、見ているこちらまで、次は、どうしていくんだらか？とワクワクしてきます。また遊びで使った道具を本当の道具として利用する姿にも感じます

遊びが発展していく中で子どもたちは、話し合いをしたり、時には、思い通りにならないこともあったり。そんな時には、折り合いの付け方などを学んでいるように感じます。折り合いがつかず指導員に話を聞いてほしくて、訴えてくる子もいます。一通り話を聞き、他の子の言い分を通訳して伝え最終『ソレデウスル？続ける？やめて他のことする？』と聞くと必ずと言っていいほど『また行く！』と仲間に戻ります。

そして何もなかったかのように続きが始まります。これもまた見ていて癒される場面です。面白い楽しい想いが勝つから我慢もできるのでしょね。遊びが子どもたちのものになり、発展しました子ども同士の関係も作られます。その中で成長する。すばらしいサイクルですね。春もワクワク楽しみです。

新たな遊び 《妖怪花あそび》



20年位前に購入して未使用だった

《ゲゲゲの鬼太郎の 妖怪花あそび》

水木しげるさんが亡くなりふと思い出し、かいのきへもともと花札の遊び方を知らないうえ説明書を見てもちんぷんかんぷん??? そこへ 院生のはっしーが花札を知っていると。子どもたちと帰りの会後の室内タイムに遊び始めました。すぐ高学年男子がはまり大盛り上がり。1セットでは、足りません。『たかちゃん。花札買って!!』

『花札? う～ん・・・』・・・指導員間で相談です。

『学童で花札は、まずいよねえ～。』お迎えに来られた保護者の方にも尋ねてみました。みなさん微笑みながら見守ってくださっていました。なかには『場にはないカードをよそから買ってきて勝負する卑怯なカードゲームよりよっぽどいい。』と言って下さった方もいました。ほんとに今のカードゲーム

(ゲーム全般に)では、お金に物を言わせレアなカードまたは、アイテムを手に入れたものが勝ちです。それを考えると・・・。そこで同じようなものがないか探してみました。すると子ども向けのいろいろなキャラクターの花カルタがありました。その話をすると『どんじゃらも・・・』と子どもたちの要望を聞きました。春休みまでには、購入予定です。ちなみにいろいろ調べてみると奥が深く日本の季節と花また点数計算、ただ点数が高いものが勝ちではなく、何もない低い手ばかり集めるとそれがいちばんつよかったり、決まった枚数なので人の集める邪魔をすることで自分の勝ちにつながったり子どもたちは、一生懸命考えているようでした。外遊びから室内へ入ると『やるでえ～!!』と声を掛け合い3人までしかできないのにたくさん集まってくるのです。とっても盛り上がっていました。

ちなみにこの鬼太郎花あそびプレミアが付いていました。使用后気がついて遅いのですが・・・(泣)

* この花カルタやトランプなどについて気になる方は、指導員までお声をかけてくださいね。

《文責：高橋》